

## 日本遺産めぐり

9月25日と10月8日の2日間、市制施行70周年記念「日本遺産めぐり」が開催されました。

これは、市職員のガイドを受けながら、イサミ足袋工場や今津印刷所、武蔵野銀行行田支店などの日本遺産構成資産を徒歩で巡るツアー。普段は非公開である足袋工場などの内部を見学した参加者は、とても有意義な時間を過ごしている様子でした。



## 行田市ふれあい福祉健康まつり

10月20日、水城公園多目的広場(バスターミナル駐車場西側)で第24回行田市ふれあい福祉健康まつりが開催されました。

忍さくらんぼ会による勇壮な和太鼓の演奏で幕を開けたこのイベントは、他にも歌やダンスなどのパフォーマンスが披露され、会場を盛り上げました。また、福祉・ボランティア団体らによるPRや保健団体による健康啓発なども行われ、来場者は福祉と健康に対する理解と関心を深めているようでした。



## 行田市ゼリーフライの大使潮崎ひろの震災復興チャリティーライブ

9月22日、観光情報館「ぶらっと♪ぎょうだ」で行田市ゼリーフライの大使潮崎ひろの震災復興チャリティーライブが行われました。

東日本大震災発生後の平成23年6月から、少しでも被災地の復興に貢献したいという思いで始め、このたび100回目を迎えたチャリティーライブ。これまで寄せられた寄付金は50万円ほどにのぼり、その収益は被災自治体へ直接手渡しされています。この日も、潮崎さんによる明るく朗らかな歌声が披露され、客席からは盛んな拍手が送られました。



## 忍城おもてなし甲冑隊と共に幻の行田在来枝豆を収穫せよ

10月6日、枝豆収穫体験「忍城おもてなし甲冑隊と共に幻の行田在来枝豆を収穫せよ」が行われました。

参加者は、忍城おもてなし甲冑隊とともに、埼玉地内にある土土にはわ農園の畑で、6月に苗を植えた枝豆の収穫を楽しみました。収穫後は、はにわの館に移動し、採れたばかりの枝豆を調理。参加者は「甘くておいしい」と行田在来枝豆特有の甘味や風味を堪能していました。



## 秋の交通安全運動出発式

9月21日、産業文化会館ホールで、秋の交通安全運動出発式が開催されました。

式典で、行田市交通安全母の会会長の長島寛さんが、より一層交通事故防止に努めてほしいという県知事からのメッセージを読み上げました。また、一日警察署長を委嘱された千葉県船橋市在住のご当地キャラクターふなっしーが、埼玉県警察音楽隊が演奏する自転車安全利用五則「5Song(ごそんぐ)」に合わせて機敏なダンスを披露。集まった人たちへ交通安全を呼び掛けました。



## 第2回ぎょうだ郷土かるた大会

9月28日、行田グリーンアリーナ柔道場で第2回ぎょうだ郷土かるた大会が行われました。

この大会に、市内小学生と保護者らで構成された24チームが参加し、3人1組の団体戦で競技を行いました。出場者は真剣な表情で耳を澄ませ、いざ読み手が上の句を読み上げると、手を伸ばして「はいっ」と大きな声で札を取り合っていました。



## GYODA CITY PHOTO NEWS 写真館



## 行田忍城オリムピック2019

9月28日、忍城址などを会場に、行田忍城オリムピック2019が開催されました。

市内外に行田の魅力を発信しようと市制施行70周年記念の市民提案事業として実施されたもの。足袋をはいての綱引きやリレー、玉の代わりに足袋を投げ入れる「足袋入れ」が行われ、参加者は、「足袋のまち行田」ならではの競技を楽しんでいました。



## 「ひらけ!日本舞踊のとびら」のワークショップ

10月11日、行田市立東小学校で、「ひらけ!日本舞踊のとびら」のワークショップが開催されました。

これは、文化庁による「文化芸術による子供の育成事業」のワークショップとして、日本舞踊の所作を学ぶもの。当日は東小学校の5年生69人が、浴衣に着替えて、正座、お辞儀などの基本動作を学び、おはやしに合わせ、演目「雷神・風神」を踊りました。子供たちは、目の前でおはやしが演奏されると、その迫力に驚きながらも真剣な眼差しで見つめていました。